

星槎大学大学院 教育セミナー

応用行動分析学の拡がり

-星槎大学大学院「行動ゼミ」で何が行われているか-

実験分析に基づいて行動の問題を解決する「応用行動分析学」という科学があります。日本でも1980年ごろから組織的な研究が始まり、現在では教育、ビジネス、医療、看護、福祉、リハビリテーション、心理臨床、スポーツ、動物のしつけやトレーニングなどの領域で精力的に研究が行われています。このセミナーでは、星槎大学大学院行動ゼミ生の研究も紹介しながら、応用行動分析学の可能性を語ります。

日時：2019年7月27日(土)17時30分～19時00分

場所：横浜キャンパス (横浜市中区日本大通11番地 横浜情報文化センター5階)

※ 自宅受講可能(PC・タブレット必要)

講師：杉山 尚子 教授(教育学研究科)



慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻博士課程修了。
日本行動科学学会運営委員。元日本行動分析学会常任理事。元日本動物看護学会副理事長。
専門は行動分析学。主要著書：『行動分析学入門』(共著;産業図書)
『行動分析学入門—ヒトの行動の思いがけない理由』(集英社)
『行動分析学マネジメント—人と組織を変える方法論』(共著;日本経済新聞出版社)
『看護学生のための心理学』(共著;医学書院)

参加申し込みはこちら

申込：星槎大学大学院のHPからお申し込みください。

<https://gred.seisa.ac.jp/other1/seminar-form/>

TEL:045-212-3830

Mail: info_gr@seisa.ac.jp



星槎大学大学院

通信制 教育学研究科(修士課程)

通学制 教育実践研究科(専門職学位課程)